



第 10 章 プランの推進

I 推進体制

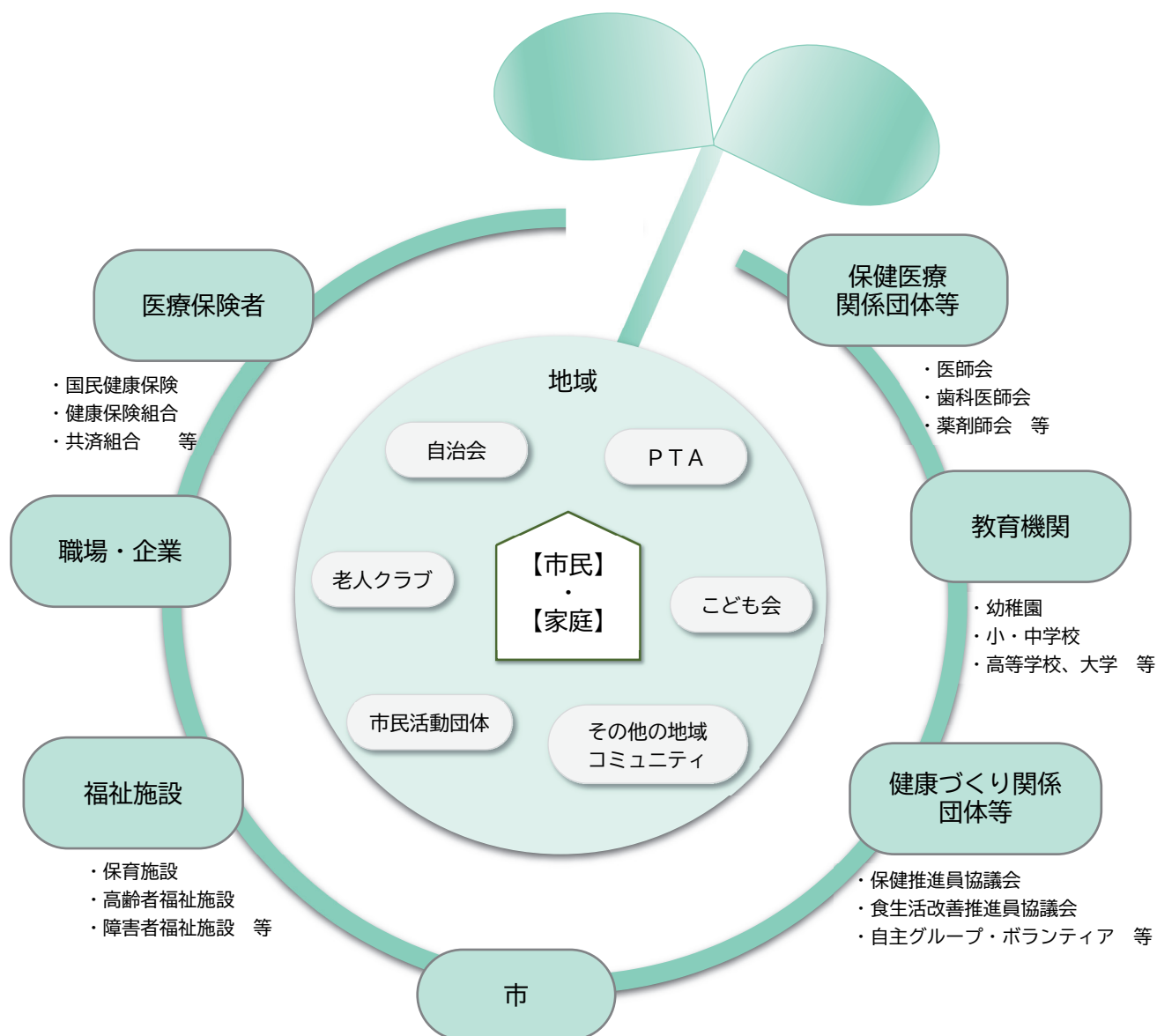
(1) 関係機関等と連携した健康づくり

<市民・関係機関・市等の連携による推進体制>

本プランでは、「いつまでも いきいきと 健やかに暮らせるまち 小江戸川越」をスローガンに掲げ、「市民が主体の健康づくり」を「地域や職場で取り組む健康づくり」で支え、「持続できる健康づくり」につなげていくことを基本理念としています。

健康づくり、食育、歯科口腔保健を推進するためには、地域、関係機関、市等が連携し、市民を支援していくことが必要であり、各主体が連携・協働して地域・社会全体で取組を行い、市民の健康づくりの実践を支援します。

市民・関係機関・市等の連携による推進体制



<各主体の役割>

○ 市民の役割

健康づくりは、市民一人ひとりが自分自身の問題として捉え、主体的に取り組むことが重要です。市民は、自分の健康に関心を持ち、積極的に健康的な生活習慣を身に付け、自分に合った健康づくりを実践していく必要があります。

○ 家庭の役割

家庭は、乳幼児からの生涯を通じて主な生活習慣を身に付ける場であり、家族の生活習慣は家庭内で相互に影響を与えます。市民一人ひとりが健康的な生活習慣を身に付けるためには、家族が相互によい影響を与えながら家族ぐるみで取り組むことが重要です。

○ 地域の役割

身近な仲間やコミュニティの中での健康づくりは、地域の中で取組の輪が広がり、多くの人々の健康づくりに影響を与えます。また、地域全体の健康づくりにつながるほか、さまざまな活動を通じた「仲間づくり」や「まちづくり」にもつながります。地域の絆を深め、市民相互の支え合いや助け合いによって健康づくりに取り組むことにより、共に健康で豊かな暮らしにつながることが期待されます。

○ 健康づくり関係団体等の役割

健康づくり関係団体や自主グループ、ボランティアは、各地域で直接市民と関わり、柔軟な取組を行うことができます。市民の身近なところに学びや実践の場、仲間との交流の場を提供するなど、地域に根ざした活動を行うとともに、地域と市をつなぐ役割を担うことにより、市民の継続的な健康づくりを支援していくことが期待されます。

○ 児童福祉施設（保育施設）、教育機関（幼稚園、学校）の役割

保育施設、幼稚園、学校は、乳幼児期から青年期にかけて多くの時間を過ごす場であり、健康教育を通じて健康観の確立や、望ましい生活習慣の習得の場として重要な役割を担います。家庭、地域と連携を図りながら、園児、児童、生徒が自分の意志で適切な判断や行動をとれるよう、健康教育を充実していくことが望まれます。

○ 福祉施設（老人福祉施設、障害者福祉施設等）の役割

福祉施設には、高齢者や障害のある人等に対して、それぞれの特性に応じた健康づくりの取組の推進が望まれています。また、施設利用や事業参加は、仲間づくりや生きがいづくりにもつながるため、高齢者や障害のある人等が健康で心豊かな生活を送れるような取組を充実していくことが期待されます。

○ 職場の役割

働く人にとって職場は、1日の多くを過ごす場所であり、職場の環境や事業者の取組は、働き世代の健康づくりに大きく影響します。特に働き世代の多くは、健康への関心があっても、行動に移しにくいと考えられます。そのため、職場において定期的な健康診査の実施とその後の保健指導、メンタルヘルスなどの取組を積極的に行い、正確な情報を提供することで、組織全体で健康管理を行うことが期待されます。

○ 企業の役割

市民の健康づくりを支援する取組を効果的なものとするため、市と民間企業の連携を図り、市民の健康意識の向上や、健康への関心が薄い者を含めた全ての人が意識せず健康になれる環境づくりを推進することが期待されます。

○ 医療保険者の役割

国民健康保険、健康保険組合、共済組合等の保険者には、被保険者やその扶養者に対する特定健康診査や特定保健指導等の保健事業の実施が義務付けられています。被保険者の生活習慣病等のリスクを減らし、健康づくりを推進するため、健康診査の受診率向上に向けた取組や生活習慣の改善に必要な支援等、さまざまな活動を行うことが求められます。

○ 保健医療関係団体等の役割

医師会、歯科医師会、薬剤師会等の保健医療関係団体には、保健・医療サービスの提供のほか、専門家の立場から、健康づくりに関する情報提供や相談対応、関係機関等への支援等、さまざまな機会を通じて市民の健康づくりの支援を行うことが期待されます。

○ 市の役割

プランの推進に当たっては、健康づくりが主な目的でなくても健康に関わる側面がある場合には、関係各課や関係機関・団体と柔軟に連携するとともに、産学官で連携を図りながら、健康づくりに関する諸施策を実施します。また、市民の主体的な健康づくりを地域全体で支えるしくみづくりや地域で健康づくりを担う関係団体等の育成、支援を行い、プランの周知、進捗管理を行います。

（２）地域特性に応じた健康づくり

市民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、気軽に取り組めるようにするためには、地域に根ざした身近な情報を把握し、地域ごとの健康課題を捉えることが大切です。本市では、保健活動を推進するにあたり、地区担当を配置し、保健推進員協議会や食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士PFCの会をはじめとした健康づくり関係団体や健康づくりボランティアグループとともに、地域の特性を生かした事業を展開しています。

また、市民センターや地域における会議等と連携を図ることで、地域に密着した健康づくりの推進に取り組んでいます。

全てのライフステージの市民を対象に、健康づくりと生活習慣病等の発症や重症化予防に向けた取組を実施するとともに、必要な情報の提供や早期の予防的介入を地域の特性に応じて行っています。こうした取組をさらに進めるため、保健推進員協議会や食生活改善推進員協議会等の健康づくり関係団体や医師会、歯科医師会、薬剤師会をはじめとする保健医療関係団体や自治会、民生委員、自主グループ、ボランティアグループなどの地域のコミュニティとの連携をさらに強化することで、健康づくりを推進します。

2 推進組織

本プランの推進組織として、「川越市健康づくり推進協議会」および「川越市健康づくり推進庁内会議」、「川越市健康づくり推進庁内会議検討部会」がそれぞれの役割のもとに連携して、本プランの推進を図ります。

川越市健康づくり推進協議会

健康づくり、食育、歯科口腔保健を推進するため、プランの進捗状況の確認や課題等を検討します。

川越市健康づくり推進庁内会議

関係各課が連携して健康づくり、食育、歯科口腔保健の推進に取り組むため、それぞれの取組の実施状況、課題、成果について定期的に情報交換、情報共有を行います。

川越市健康づくり推進庁内会議検討部会

「川越市健康づくり推進庁内会議」の下部組織として、より具体的な評価および検討を行います。

3 進捗管理

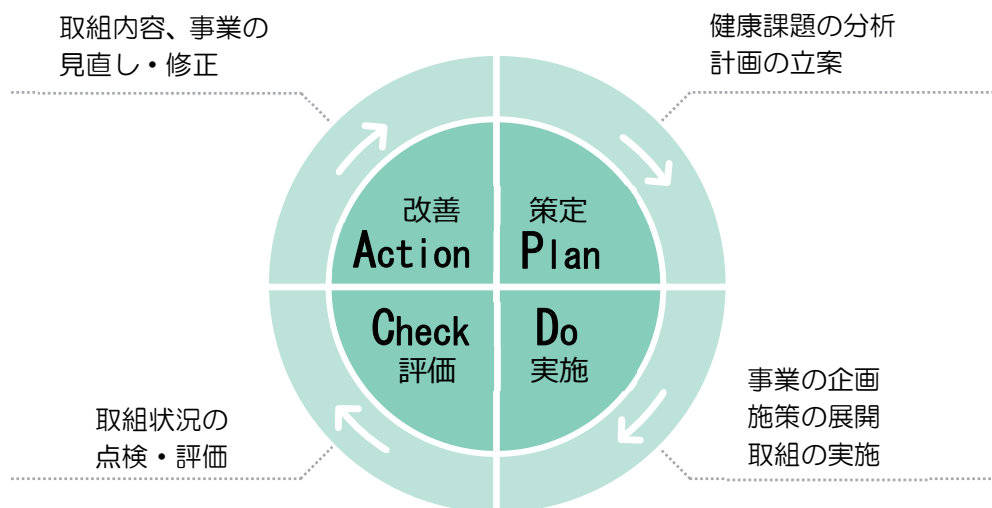
(1) 進捗管理と評価方法

本プランの中間年に向けて令和12（2030）年度に中間評価を行い、必要に応じて計画や施策の見直しを行います。見直しに当たっては、「川越市健康づくり推進協議会」および「川越市健康づくり推進庁内会議」により指標の達成状況や事業の取組状況を確認します。

また、令和17（2035）年度に調査の実施と最終評価を行い、令和18（2036）年度に評価の結果等に基づき、次期プランを策定します。

なお、計画期間中に国、埼玉県等の動向や社会情勢等の変化が生じた場合には、必要に応じて見直しを行います。

PDCAサイクルのイメージ



(2) 評価項目

本プランでは、各分野を基本に市民一人ひとりの行動目標を設定し、その目標に対して指標、目標値を定めました。

なお、指標以外にも、市民の健康状態や健康行動、社会環境のデータなど、重要な項目については、モニタリングを行い、本プランの進捗管理の参考とします。

川越市医師会の取組

地域の医療・保健・福祉に貢献できるよう、夜間休日診療所の運営や各種健（検）診、市民講演会等を実施しています。

また、健康まつりをはじめとするイベントなどを実施し、健康寿命の延伸に資するよう、普及啓発等に取り組んでいます。



川越市自治会連合会の取組

行政や各種関係団体と連携協力し「安全・安心のまちづくり」のため、活動を行っています。

各自治会では、地域行事の中で実施する健康相談をはじめ、運動、レクリエーションなどの健康づくりに寄与する取組や、地域のつながりを強化するためのコミュニティづくりなどを推進しています。



川越市歯科医師会の取組

歯と口の健康づくりを推進するため、乳幼児から高齢者、障害のある人に対して、歯科健診や歯科保健指導等を行っています。

また、歯ッピーフェスティバルをはじめとするさまざまなイベントなどを実施し、多くの市民の皆さまに対し歯と口の大切さについて普及啓発に取り組んでいます。



川越市薬剤師会の取組

薬局は、薬や健康に関するさまざまな相談に対応しています。

地域に貢献できるように、健康まつりなどのイベントや夜間休日診療所の執務、「薬の正しい飲み方」などの市民講演会を実施しています。

また、学校薬剤師として、学校環境衛生検査を実施し、保健指導を行うことによって、こどもたちの快適な教育環境を守っています。学校と連携して、薬のほかに喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室を行っています。

こどもから高齢者まで幅広い市民の方に薬や健康の正しい知識の普及啓発を行っています。



埼玉県歯科衛生士会 川越支部の取組

市民の方々の歯と口の健康づくりを推進するため、関係機関や他職種と連携しながら取組を行っています。

保育園や幼稚園での歯みがき指導や、公民館等では介護予防のための講話や実習を行っています。歯ッピーフェスティバルや健康まつり、リレー・フォー・ライフなどのイベントでは、工夫を凝らしたコーナーを設けて、全ての世代の方々に対して歯と口の大切さについて周知・啓発しています。



川越市スポーツ協会の取組

健康で健やかな生活を目指していただけるよう、運動習慣や生涯スポーツを始める糸口になるような取組に力を入れています。

生涯スポーツフェスティバルや指導者養成講習会の開催、マラソン大会への協力等、スポーツに興味を持ってもらい、きっかけづくりができるように努めています。

また、各競技団体では、市民体育祭やそれぞれのスポーツを発展させるための活動をしています。



川越市老人クラブ連合会の取組

川越市老人クラブ連合会は、高齢者がいつまでも心豊かな人生を送るため、地域ごとに老人クラブを結成し、友愛活動や社会奉仕活動を実施しています。

また、毎年春、秋には、シニア芸能大会やスポーツ大会等のイベントを実施し、健康づくりのために適度な運動をしながら、地域と人とのつながりを保っています。

なお、川越市健康まつりでは、気軽にできる体力測定コーナーを設けて、市民の皆さまと一緒に活動に取り組んでいます。



川越市保健推進員協議会の取組

各地域の支会長から推薦され、市から委嘱された保健推進員は、健康に関する正しい知識を学び、広く健康情報の発信等を行っています。

地域の活動では、各地区で開催されている公民館まつりなどで保健推進員コーナーを設置し、血管年齢チェックや体力測定等を行っています。また、自治会館等で開催する健康講座では、楽らくリズム体操など楽しく体を動かすための運動や食生活についての講話等を実施するなど、地域で生活する皆さまのより身近な存在として、健康情報をお届けするために、市内全域で活動しています。

さらに、地区活動の集大成として、全市内を対象とした「健康フェスタ」等の健康イベントや、活動を周知するための「保健推進員だより」の発行では、企画から実施に至るまでの全ての工程において、主体的に取り組んでいます。市民の皆さまに寄り添った目線で、わかりやすく健康づくりの大切さをお伝えできるよう試行錯誤しながら、市の健康づくりに貢献しています。

他の健康づくり関係団体の皆様とともに、「健康まつり」や「歯ッピーフェスティバル」のイベントでも、こどもから高齢者まで幅広い市民の方に、運動や食事、歯と口の健康についての正しい知識について普及啓発を行っています。

保健推進員は、市民の皆さまの「健康応援団！」として活動しています。



川越市食生活改善推進員協議会の取組

「私達の健康は私達の手で ～のばそう健康寿命 つなごう郷土の食～」をスローガンに掲げ、こどもから高齢者までの各世代に合った食育活動を進めています。

減塩や野菜摂取等の望ましい食習慣の普及や運動習慣の定着等の生活習慣病予防のほか、高齢者の低栄養・フレイル予防のための取組や、地産地消の推進、日本の食文化や郷土料理の継承、食品ロスの削減、災害に備えた地域づくりなど、食を中心とした幅広い活動を行っています。

会員は、リーダー研修会や全体研修会において、講義や調理実習等を通して研鑽に励んでいます。

また、埼玉県食生活改善推進員協議会等の事業への参加のほか、公民館からの依頼を受けて市民を対象とした講義や調理実習を行い、食生活の正しい知識について普及啓発をしています。

そのほか、社会福祉協議会のボランティア事業や女性団体活動への参加、その他各団体との連携を図りながら、幅広く活動しています。



公益財団法人川越市勤労者福祉サービスセンターの取組

公益財団法人川越市勤労者福祉サービスセンターは、公共施設「サンライフ川越」において、川越市との共催で健康づくりに取り組んでいます。

はじめに、「ときも健康スクール」および「ときも健康スクールOB教室」は、特定保健指導の一環として、対象者に対し、トレーニングやストレッチなどの運動実技指導を行っています。

次に、「ナトカリ比測定会」は、「サンライフ川越」の利用者を対象に、ナトカリ比の測定により、自身の塩分摂取量を主に食生活を見直すきっかけとし、また、希望者には、血管年齢測定や血圧測定も同時に行っています。

これらの取組とは別に、「サンライフ川越」の施設内にあるトレーニング室では、利用者一人ひとりの体力、目的に合ったトレーニングの提案やトレーニングメニューの作成支援も行っており、健康づくりのサポートに積極的に取り組んでいます。ぜひ、一度お気軽にお越しください。

お待ちしております。



地域活動栄養士 PFC の会の取組

『からだは食べ物からつくられています』

からだの中の細胞は絶えず入れ代わりをしています。

新しい細胞をつくる材料が食べ物（P＝たんぱく質）です。

からだが活動するために必要な体温を一定に保つためのエネルギーが、食べ物（F＝脂質 C＝炭水化物）です。

健康でいるためには、運動・休養はもちろん大切ですが、たくさんある食べ物をバランスよく食べることが大切です。

地域のすべての方々がいつまでもいきいきと健やかに暮らせるようにフエルト素材のオリジナル媒体のエプロンシアター、3・1・2のお弁当や栄養3兄弟を使って食の大切さを伝えています。

市主催の健康まつりや歯科医師会主催の歯っぴーフェスティバルへの参加、保育園での栄養講話をはじめ、親子食育講座、栄養講座、調理講習、健康教室、伝統料理教室等、地域の皆さんに寄り添った活動をしています。



川越市PTA連合会の取組

川越市PTA連合会では、こどもたちの笑顔を守るための家庭へのアプローチについて検討を重ね、平成29年度から、「スマイルチャレンジ」事業をスタートしました。

右の「スマイルチャレンジの木」は、こどもたちが自信と夢に満ち、自らを肯定して生きられるよう、私たちがとるべき「8つの行動」を図案化したものです。ルールづくりそのものを行うのではなく、私たち大人が取るべき行動を確認するというスタンスで作成しました。

川越市PTA連合会は、こどもたちの健全育成・こころの健康のために、「スマイルチャレンジ」に取り組んでいます。



健康づくりボランティアグループやまぶき 21 の取組

健康づくりボランティアグループやまぶき 21 は、ボランティア活動を通し、健康づくりを推進しています。

定期的に健康づくりのためのウォーキングイベントの開催や、子育て教室等で親子への適切な生活習慣の周知、高齢者への体操の普及啓発等を行っています。



